

■シーン(01) 後輩パート

	(効果音) ドアをノックする音
後輩が部室に現れる	(効果音) スライド式のドアを開く音
	失礼します、先輩♡ ……あれ、今日の同好会は私たち二人だけなんですね。
主人公に近づいてくる	(効果音) 足音
	あっ、また女の子が出るゲームやってる。 美少女ゲームって言うんでしたっけ、そういうの。 ん~……ここ、ゲーム同好会ですもんね。 別に邪魔はしませんけど……。 どうせゲームをするなら、可愛い女の子と一緒にプレイした方が楽しくないですか? ほらほら、こっちの格闘ゲームとか面白いんですよ。 ……えつ。 生身の女の子なら間に合ってる……?
	(少しの間)
	……えつ、えつ、ウソ。 彼女ができたんですか……先輩に? うつわあ、ビックリ……。 先輩、ちゃんと現実の女の子にも興味あったんですねえ。  あはは、失礼なコト言っちゃってスミマセン。 でも……くすっ、そつか、そつか。 先輩って彼女持ちになったんだあ……♡  ……なんでそんなに愉しげなのかって? それは、その~…… 尊敬する先輩に春が訪れたワケですから! 後輩としては嬉しいんですよ、ええ♡  で、誰とお付き合いしてるんです? この学校の人ですか??
	(少しの間)
	……へえ~、同じクラスの先輩さんで。 大人しい地味な雰囲気の子なんだけど、 前々から気になっていて。 勇気を出して告白したらオッケーをもらえた、と。  ふふつ、それはそれは。 生糀のオタクなのに頑張りましたねえ、先輩♡  それじゃあ、私も陰ながら応援しておきます。 上手く関係が続くといいですね……♡

くすっ……。

## ■シーン(02) 彼女パート

	<p>ごめんね、待たせちゃった？ お昼休みの時間減らしちゃったね。 ……うん、わざと教室を出る時間をずらしたの。 その、私とキミが付き合っていること…… クラスのみんなに知られるのは、まだ恥ずかしいし……。 ……あっ、そ、そうだ！ それでね、今日はお弁当を作つてみたの。 キミっていつも学食とか菓子パンばかりでしょ？ さあ、一緒に食べよっか♡</p>
	(少しの間)
少し心配そうに	<p>……どう、かな？ お口に合つてるといいんだけど……。</p>
	(少しの間)
安堵しながら	<p>……ふふっ、良かったあ。 お付き合いを始めてから日が浅いのに、 お弁当なんてちょっと重たいかなって思ったんだけど…… 喜んでもらえてホントに良かった。 じゃ、じゃあ、また作つてくるね……♡</p>
	(少しの間)
	<p>あっ、そうだ。 キミって確かゲーム同好会に入つてるんだよね。 私、その手のモノにあんまり詳しくなくて…… 普段はどんなゲームをしてるのかな？</p>
	(少しの間)
	<p>……レースゲームに格闘ゲーム。 そつかあ、同好会の人たちと そういうので対戦とかしてるんだね、きっと。 ふふっ、ちょっと楽しそうかも。</p> <p>ゲーム同好会、私も今度覗いてみようかな……。</p> <p>……ど、どうしたの、急に慌てて？ あっ……そつか、私みたいな素人がいきなり来たら、 同好会の人たち困っちゃうよね。 それに、一緒の活動だと私たちが 付き合っていることがバレちゃうかもだし……。 やっぱりやめておいた方が良さそう。</p>

でも、そのうち……キミがゲームをしているところ、見せてくれると嬉しいな。  
そ、その……か、彼氏……の好きなものは、私も知りたいから……♡

### ■シーン(03) 後輩パート

興味津々といった感じ	<p>……で、先輩。 あれから彼女さんとはどこまで進んだんですか？</p> <p>あははっ、そんなにキヨドんないでくださいよ～♡ 一応先輩に気を遣って、こうして同好会で二人きりになるタイミングで聞いてるんですから。 それで、どうなんですか？</p>
	(少しの間)
	<p>ふふ、ふふふつ。 その様子だとキスもまだっぽいですね。 モチロンわかりますよお、こうしてお話しても生身の女の子に慣れてないのバレバレですもん。</p> <p>……実はですね。 この前、先輩と彼女さんが一緒にお昼吃てるトコロ、目撃しちゃったんですよ。 くすくすっ、大丈夫です。 別に誰かに言いふらしたりとかしませんので♡</p> <p>ただ、お二人の距離感が少し微笑ましくって。 きっと彼女さんの方も、男の子との付き合いに慣れてないんですね。 ……ダメですよお、先輩。 それなら尚更、男性の方がリードしてあげないと！</p> <p>でも……くすっ。 二次元の女の子に思春期を捧げてきた先輩には、チョット難易度高いのかなあ……？</p> <p>えっ、そんなことはない？ そろそろ仲を進展させて見せる……？</p> <p>ふ～～～ん。 そうですか、そうですか。 じゃあ先輩がオトコを見せるのを期待してますね♡</p> <p>……その方が私としても面白いので。 くすくすくすっ……♡</p>

■シーン(04) 彼女パート

夜の街中でデート中	(効果音)街の雑踏
	<p>さっきのお店、すごく良かったね。 お料理も美味しかったけど、雰囲気がとっても素敵で。 ……きっと色々と下調べして手配してくれたんだよね。</p> <p>普段、お互に制服姿でしか 会っていないから、なんだか新鮮。 こうしてお休みの日に私服で待ち合わせて、 ショッピングや食事を楽しんで……。 ふふ、本当に付き合ってるんだね、私たち。</p> <p>その……変な話なんだけど、今になって 実感が湧いてきちゃった……。</p>
	(少しの間)
公園まで歩く	(効果音)足音
少し緊張した雰囲気	<p>……あはは、なんか無言で公園まで歩いてきちゃったね。 この公園、夜になるとこんなに静かなんだ。</p> <p>……。</p> <p>……えっと。 どう、しようか……。</p>
	(少しの前)
	<p>えつ……キ、キスしたい……って。 そ、その……あの……。</p>
	(少しの前)
	<p>……キ、キミって結構攻めてくるんだね。 学校ではあんなに真面目で大人しいのに……。</p> <p>で……でも、いいよ。 私たち付き合ってるんだから、 キスくらい……当然だよね。</p> <p>あ、あはは、でもどうしよう、すごい緊張してる……。</p> <p>……。</p> <p>……んつ、う。</p>
	(キスを交わす)
キスの吐息	ん……ふ、う……。

	……んつ。
	(少しの間)
少し高揚しながら	<p>……つ。 はあ……はあ……♡</p> <p>し、しちゃったね……私たち。 キス、しちゃった……♡</p> <p>や、やだなー、まだ心臓がドキドキしてる。 その……男の子とこういうことするの、 初めてだったから……。</p> <p>キ……キミは、どうなの……？</p>
	(少しの間)
	<p>……そっか、キミも初めてだったんだ。 ふふつ、私が初めての相手、かあ。</p> <p>じゃあ……えっと。 これからも二人で色々なコト出来ると嬉しいな……♡</p>

### ■シーン(05) 後輩パート

愉快そうな雰囲気で	<p>……へえ～、それでデートをして、 夜の公園でキスまで済ませた、と。 くすっ、なかなか頑張りましたねえ、先輩。 けど……どうせなら、そのまま最後まで イッちゃえば良かったのに。</p> <p>……あはは、冗談ですよお。 さすがに先輩にはハードルが高すぎですね♡</p> <p>それでどうだったんですか、彼女さんとのキスは。 お互に初めて同士で上手くできました？</p>
	(少しの間)
	<p>……くすっ、そうですか。 緊張してたけど、ちゃんと彼女さんを リードできたんですね。</p> <p>柔らか～い、彼女さんの唇。 そこから漏れる、熱を帯びた吐息……。 ふふふ、生身の女の子の 良さを知ってしまったワケだあ……♡</p>

	<p>ん～……。</p> <p>……ああ、いえいえ。 ちょっと考え事をしていたんです。</p> <p>その、なんて言うか……。 私だったら、もっともっと生身の女の子の良さを 教えてあげられるのにな～、って思って♡</p> <p>ねえ、先輩。</p> <p>もし良かったらあ……私ともキスしてみませんか？</p>
	(少しの間)
	<p>ふふっ、そんなに取り乱さないでください。 私ね、結構キスは得意なんですよ。 彼女さんの唇と、どっちが好みか…… 比べてみてください♡</p>
少しずつ近づいてくる	(効果音)足音
ゆっくり言い聞かせるよ うに	<p>ほら、逃げないで。 大丈夫ですよ、キスなんて挨拶みたいなものです。 それに……私、先輩のコト結構スキですよ？</p> <p>これは、私が勝手にやっているコトですから。 先輩はそのままじっとしてくれればいいんです……♡</p> <p>ねつ……？</p>
	(効果音)衣擦れ音
ディープキスをしながら	<p>んふ、ん……んう……ちゅっ、ちゅっ……♡ くすっ……彼女さんとは、舌は絡ませてないですよね……？</p> <p>ちゅるっ……じゅるっ、ちゅるるっ……♡ ん、う……じゅるっ……こんな風に、 口の中に、舌を差し込んで……ちゅるっ、じゅるるっ…… お互いの唾液を絡ませ合う、濃厚なキス……♡</p> <p>どうですかあ……んっ、ちゅっ……♡ 彼女さんとの、唇が触れるだけの 控えめなキスも結構ですけど……ちゅるっ……♡ ちゅっ、じゅるっ……じゅるるっ……♡ こうして“体液交換”しちゃうのも刺激的でしょ……？ じゅるるっ……れろろっ……♡</p> <p>んふふっ……ほら、受け取ってください。</p>

	<p>私の唾液、口の中に注ぎ込みますよ……♡</p> <p>んっ……ちゅるっ……じゅるるっ…… ん、う、う……つ、じゅる、じゅるるるっ……♡</p> <p>はあ、はあ……♡ 飲み干してください、先輩。 その口の中にある、私の唾液……この私のカラダから作られた体液。 先輩のカラダの中に取り込むんです……♡ はい、“ごくん”してください。</p> <p>ごくんっ♡</p>
	(少しの間)
	<p>……ふふっ、ふふふっ。 よく出来ました、いい子ですね～♡</p> <p>ちゅっ……♡</p> <p>んふっ、ご褒美です……♡ ん、ちゅっ……ちゅううっ……♡</p> <p>先輩の上唇を、私の唇で“はむっ”と挟んで……。 あむっ、ちゅっ……♡ 大きな口を開けて、舌を絡ませ合いながら…… 今度は下唇も……はむっ♡</p> <p>くすくすっ……♡ 先輩の唇も、舌も、ぜへんぶ味わっちゃった。</p> <p>ところで……初キスの感触って、まだ覚えてます？</p> <p>ふふふっ、彼女さんとのキス。 私で上書きされちゃったかもしれませんね……♡</p> <p>それにしても、なんだかすっごく興奮されてるようすけど。 もしかして、私とのキスの方が気持ち良かった……とか？</p>
	(少しの間)
	<p>……な～んちゃって♡ そんなワケないですよね！</p> <p>だって彼女さんは、先輩の方から告白して お付き合いを始めたんですから。</p>

自分から心を寄せて、初めてお付き合いをする恋人さん。  
そんな大切な人のキスが、私の遊びみたいなキスで  
上書きされるはずないですよね♡

……ああ、でも。  
私としては、先輩と相性の良さを感じちゃいましたよ。  
もし彼女持ちじゃなければ……。

……いえ、これ以上は言わないでおきます。  
また彼女さんとのお話、是非聞かせてくださいね♡

ふふふつ……♡

## ■シーン(06) 彼女パート

	……どうしたの、なにか悩みごと? 最近、授業中も上の空みたいだけ……。 私でよければ相談に乗るよ。
	(少しの間)
困った感じで	あ、あの……そんなに唇を見られると恥ずかしいよ。 もしかして、この前のキスのこと……思い出してたの？  ……えつ、えつ。 もう一度キスしたい……？ だ、だめだよ、ここ学校だよ？ それに、もう少しでお昼休みも終わっちゃうし……。
	(少しの間)
軽めのキスを交わす	あ、諦めきれないって……。 うう……じゃあ、ちょっとだけ、だよ。  んっ……ちゅっ……♡ ん、う……つ♡  ……つ。 は、はい、これでおしまい。 やっぱりまだ緊張しちゃうね、あははっ……。 それに比べて、キミの方は前より落ち着いてるね。  ……。  ……っていうより……。  なんだか……。 “物足りない”って顔してるような……？

	<p>あっ、ご、ごめん、なんでもない！ 変なコト言っちゃったね。 私がキスくらいで緊張しすぎなのかな、きっと。</p> <p>……あ、あれ、どうかした？ なんだか……瞳に熱が籠もってるよ……。</p>
(少しの間)	
恥ずかしがりながら	<p>も、もしかして、キスより もっと先に進みたい、とか……？</p> <p>だ、だめだよ、それは本当にだめ！ いくらなんでも、まだ早すぎるし…… 学校でこれ以上のことは出来ないよ。</p> <p>そつ……それに、ほら。 焦らなくても、時間は沢山あるんだから。 ゆっくりお互いのことを知って、 少しずつ関係を進めていきたい……かな。</p> <p>だから、ね？ そんなに急ぐのはキミらしくないと思うよ。</p> <p>……えっと、じゃあ教室に戻ろっか。 ほらほら、早くしないと午後の授業、始まっちゃうよ♡</p>

## ■シーン(07) 後輩パート

部室に入てくる	<p>(効果音) ドアをノックする音 (効果音) スライド式のドアを開く音</p>
	<p>失礼しまーす♡</p> <p>……あれ、先輩。 今日も独り寂しく美少女ゲームですか？</p> <p>そんな二次元の女の子に逃避しなくとも、 先輩には可愛い彼女さんがいるじゃないですか～♡ なのにどうしちゃったんです、 そんな悶々とした顔しちゃって。</p>
(少しの間)	
愉快そうな雰囲気で	<p>くすっ……くすくすくすっ♡ な~んて、原因は分かってるんですけどね。</p> <p>……先輩、またお昼休みに裏庭にいましたよね。</p>

	<p>彼女さんとキスをしているトコロ、 しっかり目撃しちゃいました♡ ふふつ……想像以上に初々しいキスだったなあ。</p>
ゆっくり近づいてくる	(効果音) 足音
	<p>でも……先輩、嬉しそうじゃありませんでした。 会話は聞こえなかったけど、キスの後も なにか食い下がってましたもんね。</p> <p>ふふふつ……。</p>
ゆっくり近づいてくる	(効果音) 足音
すべてを見透かしている かのように	<p>……満足、できなかっただんでしょ？(笑)</p> <p>大好きな彼女さんとの甘～いキスだったのに、 先輩は全然満足できなかっただ……♡</p> <p>……思い出しちゃったんですよね、私とのキスを。 お互いの舌をずるずる吸って、 たっぷりと唾液を絡め合った濃厚なキス……♡</p> <p>そのせいで、先輩の唇は あんな稚拙な口づけじゃ満たされなくなっただ……。</p> <p>先輩の、</p> <p>彼女との、</p> <p>大切なキスの味は。</p>
ディープキスを交わしながら	<p>んつ……ちゅつ♡ ちゅるるつ……じゅるつ、れろろつ……♡ ……ん、ふつ……♡</p> <p>くすつ……私とのキスで、 “上書き”されちゃったんです……♡</p> <p>……ねえ、先輩。 もっと“いいこと”してみたくないですか……？</p>
	(少しの間)
	<p>ふふふつ、またキヨドってる。 ホントは先輩も、生身の女の子と キス以上のことをしてみたいんでしょ？ 彼女さんにも、それを求めて 拒否られちゃった……違いますかあ？</p>

	<p>……あの彼女さん、身持ちが固そうというか。 真面目そうな雰囲気ですもんね。 多分、お手軽な美少女ゲームと違って、 カンタンには先に進めないんじゃないかな～。</p> <p>でもでも、先輩だってお年頃ですから お預けをされ続けるのも辛いですよね。</p> <p>だから……私で良ければ、 キスより気持ちいいコト、してあげますよ……♡</p>
背後から身を寄せる	(効果音)衣擦れ音
	<p>ほら、こうして先輩の背中にカラダを密着させて、 後ろから手を伸ばして……。 さっきから膨らませてるこの股間、 手のひらでスリスリしちゃいます……♡</p>
服の上から股間を触る	(効果音)衣擦れ音
	<p>あはっ、ガチガチになってる。 もしかして最初から期待してました? くすぐすっ、彼女持ちのクセにいけないんだあ……♡</p> <p>それじゃ、ご期待通りに…… すりすり、すりすり、すりすり……つ♡</p>
服の上から股間を触る	(効果音)衣擦れ音
優しく言い聞かせるよう に	<p>んふふっ、分かってます。 撫でられるだけじゃ生殺し、ですよね。 ちゃ~んと“おてて”でシコシコしてあげますね。</p> <p>……あれれ、罪悪感ありますか？</p> <p>安心してください、 これは私が勝手にやっていることなんです。 先輩は痴女じみた後輩の毒牙にかかる、単なる被害者。 なんにも悪くないです……。</p> <p>そう、先輩は悪くない。 全然悪くない……♡</p> <p>おちんぽを固くしてるので、生理現象に過ぎません。 彼女がいたって、こればかりは どうしようもないんです……♡</p> <p>……さあ、力を抜いて。 これは浮氣でもなんでもない、 悪い後輩からの悪戯なんですから……♡</p>

	(少しの間)
	<p>くすっ、いい子ですね。      そのまま全身の力を抜いて、      股間にだけ意識を集中していください。</p> <p>さあ、柔らかな手のひらを圧しつけて、      股間を優しく揉みしだきながら……。      ゆっくりと、ファスナーを下ろしていきますよ……♡</p>
	(効果音)衣擦れ音
	<p>ふふふつ、開いた♡      じゃあ、この中に細い指を滑り込ませて、      先輩のおちんぽを引っ張りだしちゃいます……♡</p>
主人公の性器を取り出す	(効果音)衣擦れ音
背後から腕を回し、手コキを始める	<p>わっ、もう準備万端みたいですね。      んふふつ……それじゃ、このまま背後から      竿を握りしめて……。</p> <p>はい、しこしこ、しこしこ、しこしこ♡</p> <p>どうですか、生身の女の子の“おてて”は♡      二次元の女の子は、こんなこと出来ないですよね……♡</p> <p>しこしこ、しこしこ、しこしこ♡</p> <p>あ、でも。      彼女さんしてもらうのも難しいのかな？      全然経験なさそうですもん。</p> <p>ふふつ、しこしこ、しこしこ♡</p> <p>けど、私なら悦ばせてあげられる。      ただ竿を擦るだけじゃないんですよ？      こうして……指のお腹で、亀頭をぐにぐに刺激したり……♡      空いてる手の方で、袋も優しく揉んであげちゃう……♡</p> <p>ぐにぐに、もみもみ、ぐにぐに、もみもみ♡      あはっ、先輩のおちんぽ、敏感で可愛いなあ♡</p> <p>……ねえ、先輩。      私のカラダの感触、感じてもらえてますか？</p>
胸を押しつける	(効果音)衣擦れ音
優しく言い聞かせるよう に誘惑	ほら、先輩の背中に私のカラダが密着してる。 柔らかい胸もいっぱい押しつけてるんですよ……♡

……そういえば彼女さん、  
胸はあんまり大きくなさそうでしたね。  
私だったら、この大きなおっぱいを好きなだけ  
触らせてあげたのに……くすっ、ざ～んねん♡

はーい、しこしこ、しこしこ、しこしこ♡

ふふふつ、腰が動いちゃいそうなら遠慮しないでいいですよ  
。私の手の動きに合わせて、好きなように動いてください。  
さっきも言ったように、これは私の悪戯なんです。  
だから先輩も浮気だなんて思わず、単に“センズリ”してる  
つもりで愉しんで。

これは、私を……後輩を使ったオナニー。  
そう思えばいいんです……♡

さあ、しこしこ、しこしこ、しこしこ♡  
先輩の抜きやすい速さで、しこしこ、しこしこ、しこしこ♡  
一生懸命、腰を動かして見せてください♡

(少しの間)

くすっ……可愛いですよ、先輩。  
だんだん射精することで頭がいっぱいになってる。  
こんな顔、彼女さんが見たらショックかもしれません……  
私はちゃ～んと見届けてあげますね♡

しこしこ、しこしこ、しこしこ、しこしこ♡

ふふつ、ふふふつ。  
そろそろ私はシゴく手を止めようかな。

指で輪っかを作る感じで、おちんぽを軽く握っておきますの  
で。  
あとは先輩自身が腰を振って、お好きに絶頂を迎えてください♡

……私の“おてて”とセックスごっこをするんです、先輩♡  
はいっ、どうぞ♡  
しこしこ、しこしこ、しこしこ♡

(少しの間)

ふふふつ、私の柔らかな手のひらに  
好きなように竿を圧しつけていいんですよ。

	<p>しこしこ、しこしこ、しこしこ♡</p> <p>くすっ……多分、彼女さんは こんなコトはしてくれないと思いますけど、 いずれ本番を迎えるときが来るかもしれません。</p> <p>その時のために、腰を振る練習をしましょう♡ ねっ、しこしこ、しこしこ、しこしこ～♡</p>
	(少しの間)
	<p>……男の人が絶頂に達する表情ってイイですよね。 その瞬間は射精のことしか頭になくて…… 無防備で、無抵抗で、とっても可愛い♡</p> <p>私の……先輩のイキ顔を見てみたいです。 射精してください、私の前で。</p> <p>しこしこ、しこしこ、しこしこ、しこしこ……つ♡ いいですかあ、私が“どぴゅー”って合図したら出してくださいね。 私、背後からぎゅっと抱きついで、 先輩の顔を間近で見てますから。 彼女さんも知らない恥ずかしい顔、たっぷり晒してください ……♡</p> <p>はーい、しこしこ、しこしこ、しこしこつ♡</p>
	(少しの間)
	私の“おてて”的輪っかめがけて、 しこしこ、しこしこ、しこしこ～～～♡
	(少しの間)
	くすくすっ、後輩に観察されながら、 しこしこ、しこしこ、しこしこ～～～♡
	(少しの間)
射精を促すトドメという 感じの強めの”どぴゅー”	<p>いいですか、先輩。 イクんです、あなたは私の目の前でイクんです。 だらしのないイキ顔を晒して、情けない喘ぎを漏らして。</p> <p>はいっ、</p> <p>“どぴゅ————”♡♡♡</p> <p>“どぴゅぴゅ————”♡♡♡</p>
射精タイム	(少しの間)

愉快そうな雰囲気で

……くすっ。  
くすくすくすっ♡

いっぱい出ましたねえ。  
それに、先輩の顔もちゃ～んと見届けました。

先輩がオスになる瞬間がどんな表情なのか、  
射精のときにどんな声で鳴くのか。  
私、ぜ～んぶ覚えちゃった……♡

……でも安心してくださいね。  
先輩が彼女さんとお付き合いするの、私からは一切邪魔しませんから。

ただ、まあ。

彼女さんよりも私の方が、カラダのお付き合いは  
圧倒的に上手かな……なんて思います。

あっ、でもそんなこと関係ないですよね！  
先輩と彼女さんは心でしっかりと繋がっているワケですから。  
。

……それじゃ、先輩。  
私の悪戯にお付き合いいただき、ありがとうございました♡

ふふふつ……♡

## ■シーン(08) 彼女パート

	……あっ、キミもいま帰りだよね？ じゃあ一緒に帰ろっか♡
帰路につく	(効果音)足音
	……でね、その映画がすごく面白そうなの。 今度一緒に観に行こうよ。  .....  えっと……どうしたの？ なんか私の手をじっと見てるけど……。 あっ、もしかして手を繋ぎたい、とか？  ふふつ、そうだね。 学校からも結構離れたから、 誰にも見られないと思うし……。

	じゃあ、はい……つ♡
	(少しの間)
少し緊張した雰囲気で	<p>……あはは、やっぱりまだ気恥ずかしいなあ。 自分でも情けないなって思うんだけど、 その、男性の身体に触れるのって慣れてないから……。</p> <p>……うん、やっぱりキミも男の子なんだね。 私より全然大きくて、ごつごつとした手……♡</p> <p>あの……私の手は、どうかな……？</p>
	(少しの間)
	<p>そつか、柔らかくてすべすべで心地いいんだ。 それなら良かった……♡</p> <p>キミも……女の子の身体には、 触れ慣れてないんだよね。</p>
	(少しの間)
	<p>……？ ど、どうかした？ またこの前みたいに悩んだ顔してるけど……。</p> <p>そ、それに……えっと。 さっきから私の手を、さするように握ってるし……。 ちょっとくすぐったい、かな……。</p> <p>……あ、全然イヤじゃないんだよ。 けど……キミ、もしかして なにか私に言いたいことがあるんじゃ……？</p>
	(少しの間)
	<p>……ん、言いたくないなら無理にはいいの。 でも、相談事とか頼み事があるなら何でも言ってね？</p> <p>私たち、お付き合いしてるんだからさ……♡</p>

## ■シーン(09) 後輩パート

主人公の報告を愉快そうに聞きながら	<p>……なるほどお。 それで、彼女さんと手を繋いだときに 私の”悪戯”的コトを思い出しちゃったと。</p> <p>ふふつ……彼女さんの手、柔らかかったですか？ 先輩のおちんぽを握った私の”おてて”と、</p>
-------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>どっちの方が心地良かったのかなあ……♡</p> <p>でも、まだ手を繋ぐだけで 緊張しちゃうような段階なんですね。 このペースだと、彼女さんとイイコトできるのは 一体いつになるのか……。</p> <p>ああ、いえいえ♡ 先輩がたは清く真面目な交際をしているんですもんね。 別に身体の関係なんて急いで求めてない、 しばらくはこのままの関係でもいい……。 彼女さんも、きっとそう考えてるに違いありません。</p> <p>ただ……ふふふつ。 そうは言っても、溜まるモノは溜まっちゃいますよね。</p> <p>う～ん、これは困りました……。</p>
	(少しの間)
挑発的な態度で	<p>……期待してるコト、してあげましょうか？</p> <p>くすくすっ、そんなに狼狽えなくてもいいのに。 私になにかを期待して、わざわざ自分から お話してくれたんでしょ？ だから、ご希望通りにしてあげるって言ってるんです。</p> <p>彼女さんはちょっと奥手というか…… 少し潔癖なところがあるみたいですが、 私は全然平気ですよ。 男の子の下心は、ちゃんと分かってるつもりです……♡</p> <p>その証拠に、ほら。</p>
オナホコキの誘惑	<p>ふふっ、ちゃんとこんなモノまで用意しておいたんです。 分かりますよね、これがなんなのか。 ……そう、男性が自慰に使う道具…… “オナホ”ってヤツです♡ 今回はコレで先輩のおちんぽ、シコシコしてあげますね……♡</p> <p>あっ、流石に抵抗あります？ そうですよね、これはちょっと前回の悪戯と違って、 彼女さんへの裏切りになっちゃうかも……。</p> <p>……そうだ！ なら、先輩はその椅子に座って 美少女ゲームの画面を見てください♡ 知っていますよお、オタクな先輩のパソコンには、</p>

	<p>色々とエッチなゲームも入ってるってこと……♡</p> <p>先輩は二次元の女の子をオカズにして、このオナホでオナニーをする。そして、私は先輩の代わりにオナホを動かすお手伝いをするだけ。くすっ……これなら裏切りでも、浮気でもありません♡だって、先輩は別に私で興奮するワケじゃないんですから。</p> <p>……さあ、先輩。お気に入りのオカズを画面に出して、おちんぽ取り出してください。</p> <p>一回すっきりしちゃった方が、彼女さんとも真摯に向き合えますよ？</p> <p>ほら……ねっ？</p>
主人公が脱ぐ	(少しの間)
	<p>ふふふつ、準備できました？</p> <p>じゃあ始めますね。</p> <p>先輩は私のコトは気にせず、画面に集中していてください。</p> <p>私はそんな先輩の姿をじっくりと眺めながら、このオナホでお手伝いをしますので♡</p> <p>まずはおちんぽに軽くローションを垂らして、と……♡</p>
男性器にローションを垂らす	(効果音)水音
	<p>くすっ、もうガチガチになってる。</p> <p>これならカンタンにオナホの中に入りそうですね……♡</p> <p>それでは……はい、挿入～♡</p>
オナホを男性器に挿入	(効果音)挿入音
	<p>ふふふふつ♡</p> <p>ひんやり冷たくって気持ちいいでしょ？</p> <p>穴の中にひだひだも沢山ついてますから、これで擦ったらすっごく気持ちイイですよ～♡</p> <p>ほおら……、</p> <p>しこしこ、しこしこ、しこしこ、しこしこ～～～♡</p>
オナホコキ開始	(効果音)水音
	<p>あんっ、ダメですよ。</p> <p>ちゃんと画面に集中してください。</p>

	<p>先輩の“お相手”は、私じゃなくて二次元の女の子。 じゃないと、浮気になっちゃいますよ？</p> <p>くすっ……♡</p> <p>しこしこ、しこしこ、しこしこ……♡</p>
	(効果音) 水音
	<p>先輩、彼女いない歴長そうですから。 きっとオナニーは得意なんですね？ 私のことは気にせず……射精することで アタマいっぱいにしちゃってください♡</p> <p>しこしこ、しこしこ、しこしこつ♡</p>
	(効果音) 水音
	<p>んふふつ、楽しいですよね、オナニー。 先輩がちゃんと二次元の女の子で射精をすれば、 これは彼女さんへの裏切りではないんです。</p> <p>だから、気持ち良くなつたって全然大丈夫。 な～んにも、悪いコトなんてしてない……♡</p> <p>しこしこ、しこしこ、しこしこ……♡</p>
	(効果音) 水音
主人公に同情するような態度を見せながら	<p>……そもそも、彼女さんの方だって悪いんです。 年頃の男の子なんて、やりたい盛りなのに。 軽いキスやら、手繋ぎやら…… そんなところで足踏みしていたら、本当にナマ殺し。</p> <p>ああ、可哀想な先輩。 もう仕方ないんです、オナニーするくらい。 生理現象なんですから、仕方ない。</p> <p>しこしこ、しこしこ…… これは仕方ないこと、なんです……♡</p>
	(効果音) 水音
	<p>……ふふつ、ちょっと失礼しますね。 空いている方の手を、先輩の上半身に滑り込ませて……。</p>
主人公の乳首に手を回す	(効果音) 衣擦れ音
愉快そうな雰囲気で	<p>……くすっ、指で乳首をくりくりしゃいます。</p> <p>はいっ、くりくり、くりくり、くりくり～～～♡</p>

	<p>くすくすっ……男の子でも、 乳首を触られると固くなっちゃうんですね? 身悶える先輩、とっても可愛いですよ♡</p> <p>でも、彼女さんには…… こんな恥ずかしい姿は見せられないですね。 向こうは、先輩に頼れる男性像を抱いていると思うので。</p> <p>こんな風にオナホでシコシコされて、 乳首で悶えてる姿なんて。 もし見られたら、きっと幻滅されちゃう……。</p>
	(効果音) 水音
	<p>しこしこ、しこしこ、しこしこ♡ ふふふ、モチロン私は平気ですけどね♡</p> <p>……そう考えると、彼女さんとのお付き合いって大変そう。 性欲を我慢して、必死に相手をリードして…… ちょっと疲れちゃいそうですね。 先輩は優しいから、大丈夫だと思いますけど…… 後輩としては、少し心配だなあ……♡</p>
	(効果音) 水音
	<p>ふふっ、ゲームの画面は大して進んでないのに、 おちんぽがビクンビクン脈打ってる。 もう射精したくてたまらない感じですね……♡</p> <p>先輩ったら……私の声に反応して、 勃起させちゃってますよね、これ。 二次元で済ませないと浮気になっちゃうかも、 って言ったのに。</p> <p>くすっ、どうします? ……しこしこ、しこしこ、しこしこ♡</p>
	(効果音) 水音
	<p>射精、したいんでしょ? 私に全部を見てもらいたいって考えてる……。</p> <p>……いいよ。</p> <p>先輩の恥ずかしい姿、私が見ていてあげる。 彼女さんには見せられない、劣情にまみれた表情。 私がすぐ傍で見つめててあげる……♡</p> <p>しこしこ……♡</p>

	しこしこ……♥
	しこしこ……つ♥
	(効果音) 水音
	出しちゃおうね、先輩。 おちんぽに溜め込んでるモノ、ぜ~んぶ出しちゃお。
	その方が彼女さんとも上手くいく……。 これは彼女さんのための射精、仕方のない射精……♥
	(効果音) 水音
ゆっくりと言い聞かせる ようなしこしこ	後輩の女の子で興奮して、勃起させちゃってるけど。 別に本番をしてるワケでもないし、浮気なんかじゃない……。  そう言い聞かせちゃえばいいよ、先輩……♥
	ほら、
	しこしこ……♥
	しこしこ、しこしこ……♥
	(効果音) 水音
ゆっくりとしこしこ	ふふっ……じゃあ、前みたいに”どぴゅー”しうね。 オナホに射精するんだから大丈夫。 これはただのオナニー、 彼女さんへの裏切りなんかじゃない……♥
	しこしこ、しこしこ、しこしこ……♥
	(効果音) 水音
少しずつ早くなるしこしこ	どんどんシゴく速度を上げてくよ？  しこしこ、しこしこ、しこしこ……つ♥
	(効果音) 水音
少しずつ早くなるしこしこ	くすっ、しこしこ、しこしこ、しこしこっ♥
	(効果音) 水音
トドメと言わんばかりの 強い”どぴゅー”	……はいっ、 ”どぴゅー——”♥ ”どぴゅびゅー——”♥♥♥

射精タイム	(少しの間)
	<p>……あはっ、ふふふつ。 たくさん出ましたねえ……オナホがどろっどろです。 これだけ射精すれば、しばらくは 彼女さんに対して性欲を抱かなくて済みますね？</p> <p>それと、このオナホは このまま先輩にプレゼントしちゃいます♡ ……そうそう、買うときに思ったんですけど、 これ……私のアソコの形にちょっと似てるんですよね。</p> <p>くすっ……。 いえいえ、別に深い意味はありません。 是非、おうちに持って帰って“有効活用”してくださいね。</p> <p>それじゃ先輩、私はこの辺で。 また困ったことがあれば、いつでもお手伝いしますよ♡</p>

### ■シーン(10) 彼女パート

帰路についている最中	(効果音) 足音
少し不機嫌そうな雰囲気	<p>それで、今度キミさえ良かったら……って、聞いてる？</p> <p>……なんだか最近、私と一緒にいても 上の空ってことが多いよね。 今もカラ返事ばかりだったし……。</p> <p>だから、今度ゲーム同好会を見学したいって言ったの。 私、ゲームとか全然詳しくないけど…… 少しでもキミと共に通の話題を持ちたいなって思って。</p> <p>色んなジャンルのものがあるんでしょ？ 前に話してくれたレースゲームや格闘ゲーム。 キミがプレイしてるところ、見てみたい。</p>
	(少しの間)
疑念を持っている雰囲気	<p>……えっ。 私に見られるのは恥ずかしい……？ そう、なんだ……。</p> <p>……なんか恥ずかしいっていうより、 見られたくないって感じがするんだけど……。</p> <p>えっと……。</p>

	<p>私ね……前から気にかけていたように、 なにかキミには悩みごとがあるんだと思ってた。 ……でも、最近はそうじゃないのかなって感じてる。</p> <p>……あの、ね。</p> <p>もしかして……その。 私になにか隠し事とか、してる……？</p>
(少しの前)	
強く言い過ぎたかな、と 取り繕う感じ	<p>あっ、ご、ごめんね。 気のせいだったら別にいいの。</p> <p>ただ、最近のキミは妙によそよそしいっていうか。 私に遠慮してる気がして……。</p> <p>……今すぐに、じゃなくていいの。 もし私に言いたいことがあるのなら、 正直に話してくれると嬉しいな。</p> <p>そ、その……告白を受けた側だけど、 私もキミのこと、本気だから……。</p> <p>……あははっ、とりあえずこの話はここまで！ さあ、遅くならないうちに帰ろ？</p>

### ■シーン(11) 後輩パート

彼女との状況を聞いて愉しそうな雰囲気で	<p>……なるほど、なるほど。 彼女さんがこの同好会に興味を示している、と。</p> <p>くすっ、確かにそれは困っちゃいますよね。 この部室に入れるのすら怖いところです。 だって彼女さんの頭の中には、 多分“美少女ゲーム”っていう概念がないですもん。</p> <p>ん～……ふふふ。 どうなんだろ、それ。</p> <p>ああ、いえいえ♡ 思ったんですけどお……彼女さん、 先輩がソレ系が好きなオタクだって知いたら。 きっと幻滅するんじゃないですかね……♡ 先輩だってそれを自覚してるから、当たり障りのない ゲームジャンルばかり持ち出してたんでしょ？</p>
---------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>それに……くすくすつ。 美少女ゲームをプレイするどころか、 二次元の女の子でセンズリまでしちゃってるワケですし。</p> <p>そんな本性を知られたら完全にアウト。 オタクでもないフツーの女の子の目には、 さぞや変態さんに映っちゃうんでしょうね……♡</p> <p>……だとすると、これは大変です。 先輩は彼女さんとの交際を続ける限り、 自分を偽って生きていかなくちゃいけない……。 カミングアウトできるのは、 せいぜい“ただのゲーム好き”レベルまで。 『キミも好きだけど、二次元の女の子も好きなんだ！』 ……だなんて、真面目な彼女さんに 言うわけにはいかないですから。</p> <p>困っちゃいましたね～、先輩……♡</p>
	(少しの間)
	<p>ふふふつ、思い悩んでるんですね。 可哀想な先輩……。</p> <p>……あ～あ、私だったら、 先輩にそんな思いはさせないんだけどなー。</p> <p>だってそうでしょう？ 美少女ゲームが好きなこと、二次元の女の子でシコッちゃうこと。 私はぜ～んぶ知っています。</p> <p>ううん、それだけじゃない……。 他にも……。</p>
主人公に身を寄せる	(効果音) 衣擦れ音
舌を絡めるディープキス	<p>んっ……ちゅっ。 んふ、ん……じゅるっ……♡</p> <p>……っはあ。 先輩の、唾液の味とか……。</p>
主人公の股間を撫てる	(効果音) 衣擦れ音
キスを交わしながら思わずぶりに誘惑	<p>この……おちんぽのカタチや熱さまで。 彼女さん以上に、先輩のことを分かってるんです……♡</p> <p>私は先輩の趣味にも理解がある……。 私の前でなら、先輩はな～んにも偽らずに済む……♡</p>

	<p>ちゅつ……んふふつ……♡      じゅるつ、じゅるるつ……飲んで、私の、唾液……んつ♡      じゅるるるつ……ちゅるつ♡</p> <p>……それに、彼女さんも酷いですよね。      いつまでも、いつまでも“おあずけ”状態で。      先輩は切ないおちんぽを抱えて、      ず～っと悶々としてるのに……♡</p> <p>私なら……。</p> <p>自分の彼氏に、そんな思いはさせないんだけどな……♡</p>
	(少しの間)
“彼女を裏切る”ように仕向けていく	<p>……ねえ、先輩。      もう裏切っちゃいましょうよ。</p> <p>彼女さんを裏切って、私を選んでくれたら。      この場で、今すぐにセックスさせてあげます……♡      私だって、先輩に好意があるから      今まで色々と悪戯仕掛けてたんですよ……？      好きじゃない男の子に、こんなに構ったりはしません……。</p> <p>いいですよね、裏切っても。      私なら、先輩のすべてを分かってあげられる。      二次元の女の子をオカズにシコシコしたって、      別に軽蔑なんてしない……。      オタクなままの先輩を、そのまま愛してあげます。      な～んにも、気取る必要がないんですよ……♡</p> <p>……彼女さんを、裏切る。</p> <p>一言そう言ってくれるだけで、      先輩は今日ここで、女の子を抱くことができるんですよ。</p> <p>だから言ってください。</p> <p>『彼女を裏切る』</p> <p>って、ちゃ～んと口に出して。      それ以外の言葉なんて聞かないですよ、私……♡</p> <p>さあ、私の言葉に続いて。</p> <p>『彼女を』</p>

	(少しの間)
ゆっくりと強く煽動する感じで	『裏切る』 ……つ♡
	(少しの間)
主人公の態度に満足そうな雰囲気で	<p>……ふふっ、ふふふふっ！      よく言えました～♡      嬉しいです、彼女さんより      私を選んでくれたんですね、先輩♡</p> <p>じゃあ、いいですよ。      ご希望通りに、先輩とひとつに繋がってあげる……♡</p> <p>えっ、この部室でするのかって？      くすっ……モチロン、その方が刺激的じゃないですか。      大丈夫、この時間ならどうせ誰も来ませんから♡</p> <p>先輩……ちゅつ。</p> <p>とりあえず、今日は美少女ゲームはおあずけ。      生身の女の子のカラダ、堪能してください……♡</p>
主人公に身を寄せる	(効果音) 衣擦れ音
	<p>ふふっ……さっきから先輩のおちんぽは      準備万端ですもんね？</p> <p>ええ、分かってます。      先輩が童貞で、女の子の扱いにも慣れてないってこと。</p> <p>安心してください。      ゼ～んぶ、私がしてあげますよ……♡      先輩は椅子に座って、じっとしてるだけでいいんです……♡</p> <p>私は、そんな先輩の下半身に跨って……。</p>
主人公に跨る	(効果音) 衣擦れ音
	自分から……下のお口で、 おちんぽ咥え込んじゃいます……つ♡
挿入音	(効果音) 水音
感じている雰囲気で、行為の主導権を握りながら	<p>あ……んつ♡      ……くすっ、繋がっちゃいました……。      先輩の童貞……ご馳走様です♡</p>

	<p>んっ……分かりますか、先輩？          おちんぽが根元まで、私の中に沈み込んでる……♡          繋がってるところ、しっかり見てください。          私たち二人のカラダ、完全にひとつになってます……♡          オトコとオンナの関係になっちゃったんですよ、          私たち……♡</p> <p>ふふつ、少し下半身をくねらせてみようかな……？</p>
	(効果音) 抽送音
	<p>んっ、う、ん……つ♡          どうですかあ、おちんぽが私の肉に包み込まれて、          すっごくあったかいでしょ……♡</p>
	(効果音) 抽送音
	<p>先輩はいま、私のカラダの中にいるんですよ……。          私の体内で……私の体液に絡め取られてる……♡</p>
	(効果音) 抽送音
	<p>あはっ、気持ちいいですね、先輩。          ほら……ゆっくりと腰を振ってあげます。</p> <p>んっ……はあ、はあ、はあ……♡</p>
	(効果音) 抽送音
	<p>あ、んっ、ふふつ、おちんぽ、          どんどん固くなってる♡          私の中が気持ちいいって、悦んでる……♡</p> <p>……彼女さんのこと、裏切って良かったですね。          彼女さんよりも、私の方が全然魅力的。</p> <p>そうですよね……♡</p>
	(効果音) 抽送音
	<p>くすくすっ、カラダは正直に反応してる。          浮気して興奮しちゃうなんて、先輩ってば悪い子だなあ♡</p> <p>……でも仕方ないんです。          いつまで経ってもやラせてくれない彼女さんが悪い♡</p>
	(効果音) 抽送音
	<p>あんっ、んっ、あはっ♡          いいんですよ、もっと興奮して、もっと勃起させても。          先輩はな～んにも悪くない♡</p> <p>ヤリたい盛りの男の子が、こんな風に誘惑されたら。          彼女を裏切っちゃうのも……仕方ない……つ♡</p>

	(効果音) 抽送音
ゆっくりと自覚を促すよう に煽動する	<p>さあ、少しづつ腰を激しくしていきますよ。 先輩のおちんぽの竿、柔らかい肉壁で じゅぶじゅぶ擦ってあげる。</p> <p>……そうだ、もっと気持ちよくなるために、 先輩も協力してください♡ さっきみたいに、私の言葉を反芻するんです。</p> <p>いいですか、先輩……。</p> <p>『彼女よりも、後輩ちゃんの方が可愛い』</p> <p>ほら、言って♡</p>
	(効果音) 抽送音
	(少しの間)
自覚を促すよう、改めて ゆっくりと	<p>ふふふつ……もっとハッキリ繰り返して。</p> <p>『彼女よりも』</p> <p>『後輩ちゃんの方が可愛い』 ……つ♡</p>
	(効果音) 抽送音
	(少しの間)
	<p>……ううう、その調子です。 それじゃあ、次。</p> <p>『僕は、後輩ちゃんとの浮気セックスが大好きです』 ♡</p>
	(効果音) 抽送音
	(少しの間)
	<p>……うう、これは浮気セックス。 彼女がいるのに、先輩はその子を裏切っちゃった……♡</p>
	(効果音) 抽送音
	(少しの間)
快樂を餌にして、決定的 な言葉を宣告するよう促 す	<p>でも、もう関係を結んじゃいましたから。 今さら元には戻れません……♡</p> <p>なので……先輩はこう言わなきゃいけない。</p> <p>『僕は、彼女と別れます』</p>

	<p>……言えますよね、先輩？ 言わないと射精させてあげない。 この中途半端なところで私とのセックスはおしまい。 せっかくアガッてきた精子を抱え込んだまま、 悶々と帰り支度をしてもらいます……♡</p>
	<p>彼女がいなくても……私がいるじゃないですか、先輩。 これからも私と”仲良く”したいですよね……♡</p>
	<p>……さあ、言っちゃいましょう。 自覚できるように一文字ずつ、</p>
	<p>『ぼ、く、は』。</p>
	(少しの間)
	『か、の、じょ、と』。
	(少しの間)
強く煽動する	<p>……『わ、か、れ、ます』 つ♡</p>
	(少しの間)
今までで一番愉快そうな 感じで	<p>ふふつ……ふふふふつ！ よく言えましたね、先輩♡</p>
	(効果音) 抽送音
	<p>いいですよ、射精してください♡ 彼女さんじゃなく……この私で発情して、 この私に射精するんです……つ♡</p>
	(効果音) 抽送音
	<p>あはっ、んふふつ♡ 吐き出してくださいね、先輩♡ 彼女さんのモノになるはずだった精子。 ぜ～んぶ他のオナで消費しちゃいましょう♡</p>
	(効果音) 抽送音
	<p>あんっ、あ、ああ♡ きて、先輩、どぴゅーってきて♡</p>
	(効果音) 抽送音
射精を促すトドメの”ど ぴゅー”	<p>はいっ……、 『どぴゅーーー』 ♡</p> <p>彼女さんを裏切って、他のオナに 『どぴゅーーーーー』 つ♡♡♡</p>
射精タイム	(少しの間)

ディープキスを交わしながら、”自分が初めての相手”だと強く認識させる	<p>……どうでしたか、先輩。 生身の女の子とのセックスは。 ほら……顔をこっちに寄せて、唇を出して。</p> <p>ちゅっ……じゅるるっ、ちゅるるっ……♡</p> <p>……っはあ♡ よ～く覚えておいてくださいね。 いま、目の前にいるオンナが。 先輩の童貞を奪ったオンナです。</p> <p>この私が、先輩の”初めての相手”。</p> <p>……これから先輩の人生がどうなろうと、死ぬまでこの事実は変わりません。</p> <p>私の顔、私の声、私のカラダ。 全部をそのアタマに刻みつけておいて……♡</p>
	<p>(少しの間)</p> <p>……そうそう。 それと、彼女さんに対するケジメも しっかりしないとダメですよね♡</p> <p>ゲーム同好会を見てみたい、そうご希望なんでしたっけ。 くすっ……じゃあ、お望み通りにしてあげましょうか……♡</p>

## ■シーン(12) 共通パート

主人公と彼女が部室に向かう	(効果音)足音
[彼女] 部室に案内される	<p>ここがゲーム同好会の部室？ こんなに奥まった場所にあるんだねー、知らなかった。</p> <p>……あの。 この前は変なこと言っちゃってゴメンね。 ほら、妙によそよそしい気がするとか…… 色々言っちゃったじゃない。 それで気を遣って、同好会の見学をさせてくれる気になったんでしょ？</p> <p>ふふっ、でも楽しみだな。 私には関わりのなかった世界だし、 キミがどんな風に過ごしてるのが本当に楽しみ！</p> <p>……？</p>

	部室の扉は目の前だけど、どうしたの？ ぼーっと立ってないで早く入ろうよ♡
	(少しの間)
部室に入る	(効果音)スライド式のドアを開く音
[後輩ちゃん]	あっ、来た来た♡ 遅いですよぉ、先輩～。
[彼女] 戸惑いながら	えっ……？ あれ……キミ、確か今の時間は 自分一人だけって言ってなかったっけ……？ ええっと……。
[後輩ちゃん] 愉しげな雰囲気で	くすっ……どうも初めまして♡ 私、ゲーム同好会に所属する後輩ちゃんです。 先輩にはいつも色々とお世話になってまーす♡
[彼女]	あっ、は、初めまして。 私はこの彼のクラスメイトで……。
[後輩ちゃん]	ええ、伺ってます。 先輩の彼女さん、ですよね。
[彼女] 驚きながら	……つ。 ちょっとキミ……この子に 私たちのこと話しちゃってるの……！？
[後輩ちゃん]	ふふふつ、先輩を責めないであげてください。 私が強引に話を聞き出しちゃったんです。 それに……もう“過去のお話”になっちゃうワケですし♡
[彼女]	えっ……？
[後輩ちゃん]	……先輩、勇気を出して よく連れてきてくれましたね♡ さあ、こっちに……私の隣に来てください♡
	(少しの間)
主人公が後輩ちゃんの横 に移動する	(効果音)足音
[彼女]	ちょっと……どうしたの、キミ……？ なんで私から離れて、その子の方に行くの……？
[後輩ちゃん]	くすっ……くすくすくすっ♡ やだなあ、彼女さんてば。 この場の雰囲気で、なんとな~く分かりません？
[彼女]	分かるって、なにを……。
[後輩ちゃん] 主人公とキスを交わす	だから、こういうコトですよお。 ……先輩、私の方を向いて。

	んっ、ちゅっ……♥ ちゅっ、ちゅっ……じゅるっ……♥
[彼女]	う、あっ……！？
[後輩ちゃん] 愉しげに舌を絡ませて	んふふっ……ちゅるるつ、 じゅるるるつ……れろつ……♥
[彼女]	……っ！
[後輩ちゃん]	……んっ、ふう。 また唾液の交換しちゃいましたね、先輩……♥
[彼女] 信じられない、といった ような啖き方で	う、うそ……こんな……。 な……なんの、これ……っ？
[後輩ちゃん]	ふふっ……ごめんなさい、彼女さん。 申し訳ないんですけど、先輩はアナタより 私の方が好きなんですって。
[彼女]	……っ！！！ う、うそっ……うそ……っ！
[後輩ちゃん]	もう、ウソ、ウソってそればっかり(笑) ……見てくださいよ、ほら。 先輩の股間、キスをしただけでガチガチに勃起してます。 アナタじゃなくて、私で興奮してるんですよ♥
[彼女] 勃起した主人公を見て怯 えながら	ひ、う……っ！？
[後輩ちゃん]	くすっ、なに怯えてるんですか。 先輩くらいの歳の男の子なら、こうなるのは当然です。 そんなに初々しいから、 簡単にオトコを奪われちゃうんですよお♥
[彼女] 主人公に問いかける	う、う……！ ……そ、その子の言ってることは本当なの……？ キミは……私じゃなくて、その子のことが好きなの……？
	(少しの間)
[後輩ちゃん]	くすっ……♥ いいんですよ、先輩。 な~んにも悩まなくていいんです。  ほら、未練がましい彼女さんに、 先輩の全部を見せてあげましょう♥ まずはパソコンの画面を立ち上げて……っと。
[彼女]	……？
[後輩ちゃん] パソコンを立ち上げて、	……見てください、彼女さん。 こちらが先輩のゲーム同好会における活動でーす♥

エロゲーの画面を開く	
[彼女] エロゲーの画面を見せられて愕然としながら	……か、彼の活動って。 なに、そのパソコンの画面に出てるのは……？ 女の子の……それも、裸の女の子の絵……？
[後輩ちゃん]	あっ、もうちょっと控えめなシーンの方が良かったかな？ くすっ……真面目な彼女さんには、 18禁ゲームのCGは刺激が強いかも。
[彼女]	じゅ、じゅうはちきん……げーむ……！？
[後輩ちゃん]	そうですよお、先輩が大好きなジャンルのゲームです♡ 先輩はこういったゲームでオナニーするのがチョー得意♡
[彼女] 取り乱しながら	お、おなっ……！！？ そっ、そんな……だ、だって彼、 レースゲームとか格闘ゲームをしてるって……！
[後輩ちゃん]	そんなの、アナタと話を合わせるための ウソに決まってるじゃないですか～♡ 先輩としては、せっかく彼女ができたんですし、 早く距離を縮めて一線を越えたいですもんね。
[彼女]	……つ！！！ うそ……うそ……つ！！！
[後輩ちゃん]	ふふつ、ふふふふつ！ だからあ、な～んにもウソじゃないんですってば。 今から証拠を見せて差し上げますね……♡  ……先輩、お待たせしました。 お望みの”裏切りセックス”， あの人に見せつけちゃいましょう♡
服を脱ぐ	(効果音)衣擦れ音
[彼女]	ひつ……な、なんなの……！？ あなた、なんで服を脱いで……！
[後輩ちゃん]	いいから、そこでじっとしててください。 恋人同士が愛し合うところ、特等席で”見学”させたげます♡ ……さあ、先輩もガチガチのおちんぽを取り出してくださいね♡
	(少しの間)
[後輩ちゃん]	……ちゃ～んと準備できましたか？ ほら、彼女さんにも見せてあげましょう。  はーい、これが先輩のおちんぽですよ～♡
[彼女]	あつ……あ、あ……っ！？
[後輩ちゃん]	ふふふつ、先輩はまた椅子に座ってるだけでいいですよ。 私が上に跨って、ひとつに繋がっちゃいます。

	(効果音)衣擦れ音
[彼女]	やっ、やだ……！ ちょっと、待つ……！
[後輩ちゃん]	……だめでーす。 もうこのおちんぽはアナタのモノじゃないの。 先輩に選ばれなかったアナタは、 指を咥えて見てください……ねつ♡
主人公と後輩ちゃんが肌を重ねる	(効果音)挿入音
[後輩ちゃん] 彼女に見せつけるように	んっ……ふふふつ。 見えますか、彼女さん。 私のナ力に……先輩のおちんぽ、 ずぶずぶって入ってきてる♡
[彼女]	あ、あああ……っ！
[後輩ちゃん]	ほ～ら、ずぶずぶ、ずぶずぶ……♡ 根元までずつぱりと飲み込んであげますね、せんぱい♡
	(効果音)挿入音
[後輩ちゃん]	……あはっ、ガッカリひとつになっちゃった。 彼女さんもじっくり見学してくださいね。 他人のセックスを間近で見れるなんて、 とっても貴重な機会ですから♡
[彼女] 愕然としながら	だ、だめ、だめ……っ。 かっ、彼から……彼から離れて……っ。
[後輩ちゃん] ディープキスを交わしながら見せつけるように	えー、なんでそんな酷いコト言うんですか？ 私たち、こんなに愛し合ってるのに♡ ちゅっ……じゅるっ、ちゅるるるっ……♡ ん、先輩、舌出して……ちゅるっ、じゅるるっ……♡  んふふっ……見てください、 先輩だってこんなに無抵抗じゃないですか。 私とのキスも、セックスも。 ぜ～んぶ受け入れてくれる……♡
[彼女]	うっ、う、う……っ！ そんな……こんなの、うそだよね……？ な、なにか、キミにも理由があるんでしょ……？
[後輩ちゃん]	くすっ、ですって。 まだ認められないとか、ホント惨めな人ですよね。 ……じゃあ先輩、ご自分のお口から あの人に引導を渡しちゃいましょうっ♡ 上手に言えたらあ、ふふつ。
	(効果音)抽送音

[後輩ちゃん]	……こうして、いっぱい、いっぱい腰をくねらせて。 先輩のこと、愛してあげます……♡ 愛されたいですよね、先輩。 私は先輩の“初めてのオンナ”なんですから……♡
[彼女]	……っ！ は、初めて……って……。
[後輩ちゃん] ゆっくりと言葉を促す	ふふっ……先輩、私の言葉を繰り返してください。 『ぼくは』、 (少しの間)
[後輩ちゃん]	『童貞を』、 (少しの間)
[後輩ちゃん]	『後輩ちゃんに、捧げました』♡ (少しの間)
[彼女] 信じられない、といった 様子で	あ、ああ……っ。 そん、な……どうして……。
[後輩ちゃん]	くすっ、私から持ちかけたんですよ。 彼女さんを裏切る……そう誓ったら、 セックスさせてあげるって♡
[彼女]	なっ……なに、それ……っ！？ まさか、キミ……それで……。
[後輩ちゃん] ゆっくりと言葉を促す	ええ、そうです。 先輩は快く誓ってくれたんです♡ ……先輩、その時に口にした宣言、 本人の前でもう一度しちゃいましょうか。 さあ、 『か、の、じょ、を』、 (少しの間)
[後輩ちゃん]	『う、ら、ぎ、る』つ♡ (少しの間)
[彼女]	うあっ、あ、ああ……。
[後輩ちゃん]	ふふふつ、いい子ですよ、先輩♡ これで分かってもらいましたか、彼女さん？  ……先輩は。 私のカラダが欲しくて、私と愛し合いたくて。 アナタを裏切ると決めたんです……♡
[彼女]	……ひつ、ひどい……。

	こんなのがって、ひどいよ……っ。
[後輩ちゃん]	くすくすっ……せ～んぱい、約束のご褒美ですよ～……♥ 腰をくねくねさせて、おちんぽを 根元から締めつけてあげます♥
	(効果音) 抽送音
[後輩ちゃん]	私の顔をよく見て。 私で興奮してください、先輩♥
	(効果音) 抽送音
[後輩ちゃん] 言い聞かせるように	あんなオンナのことなんて、もうどうでもいい♥ 先輩は私のことが、だ～い好き♥
	(効果音) 抽送音
[後輩ちゃん] ゆっくりと言葉を促す	……告白して、先輩。 ほら、  『僕は』、
	(少しの間)
[後輩ちゃん]	『彼女じゃなくて』、
	(少しの間)
[後輩ちゃん]	『後輩ちゃんを、愛してます』 ♥
	(少しの間)
[彼女]	あ……ああ……！
[後輩ちゃん]	……私も愛してますよ♥ んっ……ちゅっ……♥ じゅるっ、じゅるるっ……♥  このまま……ちゅっ、キスをしながら、 “どぴゅー”しましょうね♥
	(効果音) 抽送音
[後輩ちゃん] 舌を絡め合いながら	んふっ、じゅるっ、じゅるるるっ～～～♥ 彼女さんも、ちゃ～んと最後まで見ててくださいね。 私と先輩が仲良く絶頂を迎えるトコロ♥
[彼女] 拒絶の呟き	いっ、いや……いや……！
[後輩ちゃん]	んっ、ちゅっ、ちゅうっ♥ つはあ……れろろっ、じゅるるっ……♥
	(効果音) 抽送音
[後輩ちゃん]	……ぜ～んぶ混ぜちゃいましょう？ 唾液も、あそこのお汁も…… 私たちの体液を混ぜ混ぜしちゃうんです……♥

	(効果音) 抽送音
[後輩ちゃん]	……先輩、“後輩ちゃん愛してる”って囁き続けてください。 囁きながら精子を”どぴゅー”するんです……♡
	(効果音) 抽送音
[後輩ちゃん] 優しく言い聞かせるよう に	囁いて、たくさん囁いて♡ 何度も何度も……彼女さんに聞かせてあげるの。 私も一緒に囁くよ。  せんぱい、だいすき♡  せんぱい、だいすき♡  せんぱい、だ~いすき……♡
	(効果音) 抽送音
[後輩ちゃん]	あはっ、先輩のおちんぽがナ力で跳ねてる。 いいですよ……どぴゅーしてください♡  彼女さんが見ている前で。  他の女の子に。
	(効果音) 抽送音
	(少しの間)
[後輩ちゃん] 射精を促すトドメの”ど ぴゅー”	はいっ、  どぴゅ—————つ♡♡♡  どぴゅぴゅ～～～～つ♡♡♡
射精タイム	(少しの間)
[後輩ちゃん]	んっ、じゅるっ、ちゅるるるっ♡ 唾液、交換しながら…… 最後までおちんぽ汁を吐き出すんです……っ♡  んふっ、ふふふつ♡ 見えてます、彼女さん? 先輩、私でどぴゅどぴゅ射精しましたよ♡
[彼女]	あっ、う、うう……。
[後輩ちゃん]	ほ～ら……先輩は私で発情して、 私のために精子を作ったんです。 あ、んっ……私の穴、どろっどろにされちゃった……♡  ……じゃあ、先輩。 最後にケジメをつけよっか。

	い～い、ちゃんと口にしてあげるんだよ。 『僕は』、
	(少しの間)
[後輩ちゃん]	『後輩ちゃんの、オトコになりました』♡
	(少しの間)
[後輩ちゃん]	『だから、あなたとは別れます』♡
	(少しの間)
[後輩ちゃん] トドメの一言を促す	くすっ……。 『さ、よ、う、な、ら』 つ♡
	(少しの間)
[彼女] 軽蔑した雰囲気で	さ、最低……こんなの、最低……つ。 キミがこんな人だったなんて……！ 言われなくても、こっちからサヨナラだよ……！ ……もう二度と話しかけないで……つ！！！
	(効果音)走り去る音
[後輩ちゃん]	……あははっ、逃げちゃった。 残念でしたねえ、先輩。 勇気を出して告白して、初めて出来た彼女さんだったのに。  くすっ……“私がいれば、もう別にいい”、ですか？ へえ、そんなに想ってくれちゃってるんだ。  う～ん……ふふふ。  ……けど、遊び終えちゃったし。 どうしようかなあ……。  ……ああ、いえいえ。 それでは私も今日はそろそろ帰るので。  さよ一なら、先輩♡

### ■シーン(13) 後輩パート

	……ああ、先輩。 どうしたんですか～？  ……くすっ、なんだか悶々とした表情。
--	--------------------------------------------------

	<p>そっか、彼女さんとは正式にバイバイしちゃいましたもんね。 ふふふつ……で、また私になにか期待してるワケですか。</p>
	(少しの間)
態度を豹変させながら	<p>ん~……。</p> <p>う~ん……ふふふ。 どうしようかな~……。</p> <p>えっ、急に態度が違くないかって? あはは、そうですねえ。 ぶっちゃけ……、</p> <p>『飽きちゃった』</p> <p>んですよねー(笑)</p> <p>くすくすっ、どうしたんですか。 そんなにショックを受けちゃって……。</p> <p>……あっ、そっか。 先輩としては彼女さんと別れて、 私とキッチンと付き合うつもりだった、とか?</p> <p>あ~、それは正直、ナイですー。 ナシナシのナシです♡ ていうか、思い返してみてください。 私は先輩とお付き合いしてあげるなんて、 一言も言ってないですよ?(笑)</p> <p>……ああ、そういうば"好き"とは言いましたっけ。 ふふつ……ふふふつ。 確かに先輩には好意があったし、 好きとも言ってあげましたけど。 もう過去の話なんですよね、それ♡</p> <p>なんていうか……私って"悪い子"なので。 他人のモノは欲しくなるけど、 手に入ったら興味がなくなるっていうか~。</p> <p>……ふふつ、大好きなんですよ。</p> <p>初々しいカッフルを破滅させる のが♡</p>
	(少しの間)
愉しげな雰囲気で	くすつ、くすくすくすつ♡

	<p>ごめんなさい、ビックリさせちゃいました？</p> <p>先輩に彼女が出来たと聞かされたときには、内心すっごくゾクゾクしてたんですよ。彼女持ちの男の子を奪い取る快感、たまんないです……つ♡</p> <p>……後悔、しますか？ くすっ……でも、もう先輩は手遅れなんです……♡</p>
主人公に近づく	(効果音)近づく足音
小馬鹿にしたような雰囲気で	<p>だって、私のカラダに溺れる姿をあんなにしっかりと、自分から見せつけちゃったんだから。彼女さん、とても悲しそうでしたね。</p> <p>……もう、絶対に寄りを戻すことなんて出来ない。破滅しちゃったんです、先輩は♡</p> <p>だけど、そうだなあ。 異性としてはまったく魅力がないんですけどお、一応同じ同好会の先輩なワケですし。“別の部分”で私の興味を引いてくれたら、劣情を処理するお手伝いくらいはオッケーですよ。</p> <p>……どういう意味かって？</p> <p>ふふっ……♡ ぜんっぜん魅力のない男の子が、女の子の興味を引く方法。そんなの、限られてるじゃないですか……♡</p> <p>……お、か、ね♡</p> <p>お金ですよお、せーんぱい♡ 出すモノを出してくれたら、前みたいに“イイコト”をしてあげます♡</p>
(少しの間)	
立場を自覚させてお金を出すように促す	<p>くすっ、なにを啞然としてるんです。 だって私、先輩の彼女でも何でもナイですもん。哀しいですが、彼女持ちじゃなくなつた先輩には、私が愉しめるトコロがありません……。 残っているのは、美少女ゲーム好きのただの“キモオタ”っていうマイナス要素だけ。</p> <p>……私のカラダで気持ちよくなりたいなら、これはもう、十分な対価が必要ですよね……♡</p> <p>さ、分かったら早く持ち金を差し出してください。</p>

	<p>そうしたら、前みたいに先輩のお相手をしてあげます♡</p> <p>……なにをモタモタしてるんです？ 大切な彼女さんを裏切った先輩には、 もう私しか残ってないんですよ？ このうえ、私にまで見捨てられたら…… 先輩、マジで孤独です。</p> <p>イヤですよね、そんなの。 せっかく生身の女の子の良さを知ったのに。 すぐに新しい彼女を作るなんて、 陰キャの先輩には絶対にムリ……♡</p> <p>だから……私の言うことを素直に聞いて。 可愛い後輩のこと、援助して支えてください♡</p> <p>ほら、待っていてあげますから。 お財布からお金を取り出して、私の手のひらに乗せるんです♡</p> <p>さあっ……！</p>
お金を差し出す	(少しの間)
	<p>……くすっ、くすくすくすっ♡ ありがとうございます。 これで先輩に興味が持てそうです、私♡</p> <p>じゃあ先輩、いつもみたいに おちんぽを取り出して。 ガチガチに発情したトコロ、見せてみてください♡</p>
性器を取り出す	(少しの間)
愉しそうに小馬鹿にしながら	<p>……ちゃんと取り出せましたか？</p> <p>ふ～ん……ふん、ふん。 ふふっ、やっぱり可愛らしいサイズ♡ 改めて見ると……平均よりかなり小さいかな？(笑)</p> <p>あっ、ごめんなさい♡ それでも頑張って勃起させて立派ですよ♡ そんなに欲情してもらえるなんて、嬉しいな～～(棒)</p> <p>……さてっ、それでは！ どうぞ好きに始めていいですよ♡</p>
	(少しの間)
	<p>えっ、私は脱がないのかって？ 当たり前じゃないですかあ、そんなつもり無いですよ。</p>

	<p>別に先輩のこと、好きじゃないですしね。 なのにカラダを許すなんてオカシイですよね♡</p> <p>っていうか、さっきも言ったじゃないですか。 “お手伝いをするだけ”だって。 まあ、先輩相手だと……頑張っても“オナ見”までかな。</p> <p>……くすっ。 お金で興味を引いても、それがホントに限界なの。</p> <p>彼女持ちなら、他のオンナのモノを 奪い取る背徳感があったんだけど。 もう先輩、な~んにも価値が残ってないしなあ(笑)</p> <p>いいでしょ？ 先輩、センズリは得意なハズだし。 私のこと、オカズにする分には別に構いませんよ♡</p> <p>……ほら、独りでシコッちゃいなよ。 おちんぽ握って、</p> <p>しこしこ、しこしこ、しこしこ♡</p>
	(少しの間)
	<p>ふふっ、遠慮しないでいいんですよ。 勃起してるってことは、結局射精したいってことでしょ？ 大丈夫、もらったお金の分の興味は残ってるから。 先輩のこと、ちゃ~んと見ててあげるよ……♡</p> <p>さあ、</p> <p>しこしこ、しこしこ、しこしこ♡</p>
	(少しの間)
	<p>……ふふふつ。</p> <p>私のことでアタマをいっぱいにしてね。 この唇の味とか……おっぱいの柔らかさ、 下の穴で繋がったときの感触……全部思い出して♡</p> <p>しこしこ、しこしこ、しこしこ～♡</p>
	(少しの間)
	<p>……先輩の想像の中で、 私はどんな姿にされてるのかなあ。</p> <p>組み敷いて屈服させて、生意気な顔を歪めさせてる？</p>

	<p>それとも……逆に先輩の方が、 私に縋りつく妄想だったりして……♡</p> <p>くすっ、ま、どっちでもいいや。 だってこの状況が全てだもんね。</p> <p>さあ、シコリ続けて。 ちゃんと私が実感させてあげる♡</p>
	(少しの間)
立場を言い聞かせるよう に	<p>ふふっ、しこしこ、しこしこ、しこしこ♡ ……そう、これが先輩の現実。</p> <p>大切な彼女との仲を壊された挙句に、 その元凶である女の子の前でセンズリこいてる♡</p> <p>目の前にいる女の子は、自分を破滅させた相手なのに。 そんな子にセンズリ姿を見られて、 おちんぽはガチガチに勃起しちゃってる……♡</p> <p>……セックスでも何でもない。 触ってもらえもしない。</p> <p>なのに……先輩は、私の視線を浴びるだけで しこしこする手が止まらないでいる……♡</p> <p>しこしこ、</p> <p>しこしこ、</p> <p>しこしこ……つ♡</p>
	(少しの間)
	<p>……分かってる、先輩。 先輩は裏切っちゃったんだよ？</p> <p>この目の前の悪いオンナに絡め取られて、 まんまとフツーの幸せを手放しちゃった。 災難だよね……でも、もう助からない。</p> <p>悪いオンナは、先輩の惨めなセンズリ姿を見て……</p> <p>財 布 と し て 使 い 潰 す こ と に 決 め ち ゃ つ た ♡</p> <p>だから、もう逃げられない。</p>

自慰をスマホで撮影	(効果音) カメラのシャッター音  ……こうして、恥ずかしい証拠画像も撮られて。 先輩は壊れるまで、悪いオンナに利用されちゃうの……♡  ふふっ、しこしこ、しこしこ、しこしこ……♡
優しく誘惑するように	(少しの間)  ……先輩、好きだよ。 お財布として、大好き……♡  他のオンナから奪い取ったオトコを、 最期には金づるにするなんて。 ふふふ、悪い後輩でごめんね、先輩……♡  でも、先輩だって私のことが好きなんだよね。 だって、私は先輩の童貞を奪ってあげたオンナだもの。  先輩の、  初めてのオンナは、  この私♡  ……お金さえ出し続ければ、 そんな子にずっと相手をしてもらえるんだよ。 なら……もうこの関係でもイイじゃん♡  ね、しこしこ、しこしこ、しこしこ……♡
優しく射精まで導く雰囲気で	(少しの間)  ……さあ、“どぴゅー”してみせて。  彼女を裏切って、ごめんなさい、ごめんなさいって謝りながら 、 悪い後輩の見ている前で射精しちゃおうね♡  ほら、  ごめんなさい♡  ごめんなさい♡  だけど、“おてて”は止まらない♡  しこしこ♡

	<p>しこしこ♡</p> <p>しこしこ♡</p> <p>くすっ……は～い、</p> <p>どぴゅ———♡</p> <p>どぴゅぴゅ———♡♡♡</p>
射精タイム	(少しの間)

  

	<p>……ふふつ、ふふふふつ♡</p> <p>上手にセンズリできましたねえ♡</p> <p>あはは……やっぱり、先輩にはその姿がお似合いです。</p> <p>美少女ゲーム好きなキモオタが、</p> <p>現実で彼女を作るなんて、難易度高すぎたんですよ♡</p> <p>まあ、でも……また頑張って</p> <p>誰かとお付き合いするなら応援しますよ。</p> <p>そしたら、ご褒美にこのカラダを抱かせて、</p> <p>抗えないくらいに溺れさせて……。</p> <p>くすっ……。</p> <p>何度も破滅させてあげるから……♡</p> <p>くすっ、くすくすくすつ♡♡♡</p>
--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------